

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、「ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)」は、このたび、第252期の決算を行いました。

当ファンドは、ワールド・ソブリンインカム マザーファンドを通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債 (国債および政府保証債等) に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第252期末 (2023年 3月27日)

基準価額	7,206円
純資産総額	51,534百万円
第247期～第252期	
騰落率	△ 2.2%
分配金 (税引前) 合計	60円

(注) 騰落率は分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)

追加型投信 / 内外 / 債券

作成対象期間：2022年 9月27日～2023年 3月27日

交付運用報告書

第247期 (決算日2022年10月25日) 第250期 (決算日2023年 1月25日)

第248期 (決算日2022年11月25日) 第251期 (決算日2023年 2月27日)

第249期 (決算日2022年12月26日) 第252期 (決算日2023年 3月27日)



岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

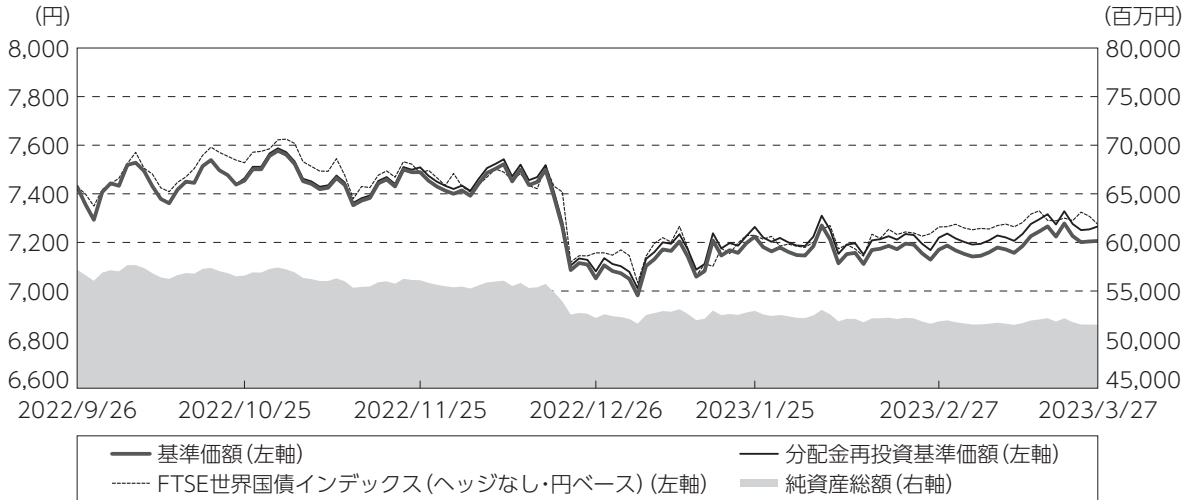
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2022年9月27日～2023年3月27日)



第247期首：7,429円

第252期末：7,206円 (既払分配金(税引前):60円)

騰落率：△ 2.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2022年9月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国、オーストラリア、イギリスなどの長期債利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米ドル、オーストラリアドル、カナダドルが対円で下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2022年9月27日～2023年3月27日)

項 目	第247期～第252期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	42	0.576	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(20)	(0.274)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	43	0.584	
作成期間中の平均基準価額は、7,305円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

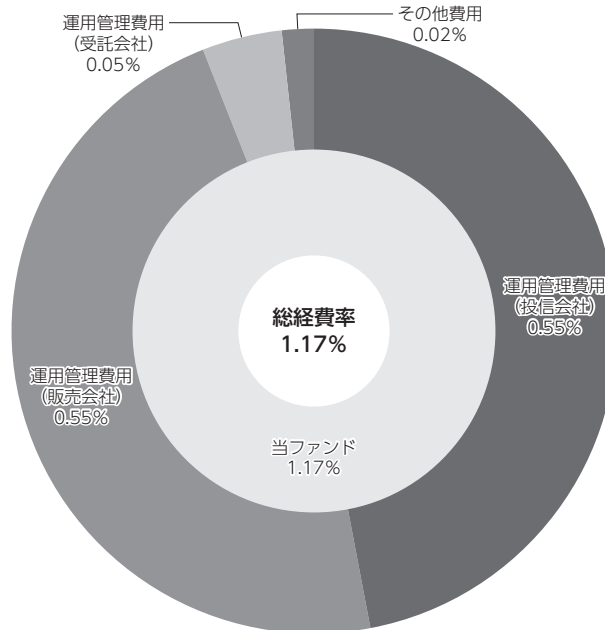
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

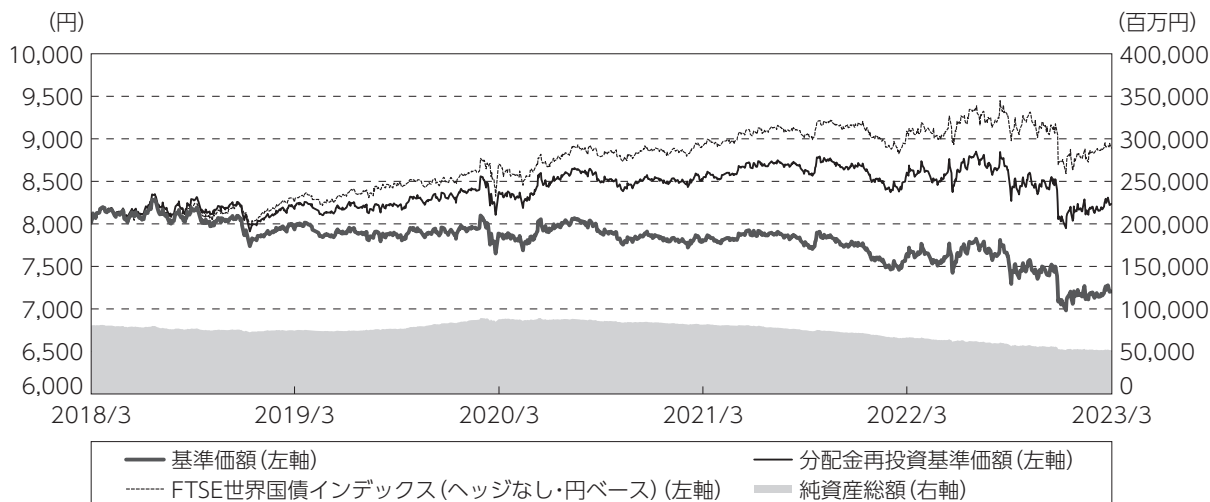
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年3月26日～2023年3月27日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年3月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年3月26日 期初	2019年3月25日 決算日	2020年3月25日 決算日	2021年3月25日 決算日	2022年3月25日 決算日	2023年3月27日 決算日
基準価額 (円)	8,011	7,934	7,885	7,792	7,648	7,206
期間分配金合計(税引前) (円)	—	240	240	240	210	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.0	2.4	1.9	0.8	△ 4.2
FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	—	3.1	5.4	2.5	1.9	△ 2.2
純資産総額 (百万円)	80,169	74,441	87,867	81,438	66,466	51,534

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2022年9月27日～2023年3月27日)

<投資国の債券市場>

海外の債券市場では、米連邦準備制度理事会（F R B）や欧州中央銀行（E C B）などの主要中央銀行が大幅な利上げを継続する姿勢を示したことを受けて、2022年10月下旬にかけて、投資国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。しかしその後は、米国のインフレ率がピークアウトしたことに加え、F R Bによる利上げペースの減速や早期利上げ打ち止めが意識されたことなどから、米国債主導で投資国の国債利回りが低下（価格は上昇）しました。2023年2月以降は、米国の好調な経済指標やE C B高官の利上げに積極的な発言などを背景に再度利回り上昇が進行する場面も見られましたが、米国の大手地方銀行の破綻を契機に欧米の金融システムへの懸念が高まり、作成期末にかけて投資国の国債利回りが急低下する展開となりました。一方、日本では、2022年12月に日銀が長短金利操作（Y C C、イールドカーブ・コントロール）における長期金利の許容変動幅を拡大したことを受けて、10年国債利回りが上昇しました。この結果、当作成期における投資国の10年国債利回りは、多くの投資国で低下しましたが、ドイツ、日本、フランスでは小幅に上昇するなどまちまちな動きとなりました。

<為替市場>

為替市場では、日銀と海外の主要中央銀行との金融政策スタンスの違いが鮮明となる中、内外金利差の拡大とともに、米ドルが対円で一時32年ぶりの高値となる152円近辺に急伸するなど、2022年10月下旬にかけて急速な円安が進行しました。しかしその後は、政府・日銀が大規模な「円買い・米ドル売り」介入を実施したこと、海外金利が低下に転じたこと、日銀がY C Cの修正に踏み切ったことなどを受けて、円が対米ドルを中心に急反発する展開となりました。2023年2月以降は、海外金利の上昇を受けて、投資通貨に対し円が下落する場面も見られましたが、欧米の金融システムへの懸念を背景に海外金利が急低下すると、再び投資通貨に対し円高が進行することとなりました。この結果、当作成期においては、カナダドルが対円で10%台、米ドルが対円で9%台の下落となる一方、イギリスポンドが対円で3%台の上昇となるなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月27日～2023年3月27日)

<ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣) >

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション^{*}を変化させました。デュレーションは、6.88年～8.37年の範囲内での推移となり、作成期末は7.80年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当作成期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.5%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当作成期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比

較し、オーストラリアドル、カナダドルが高め、円が低めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

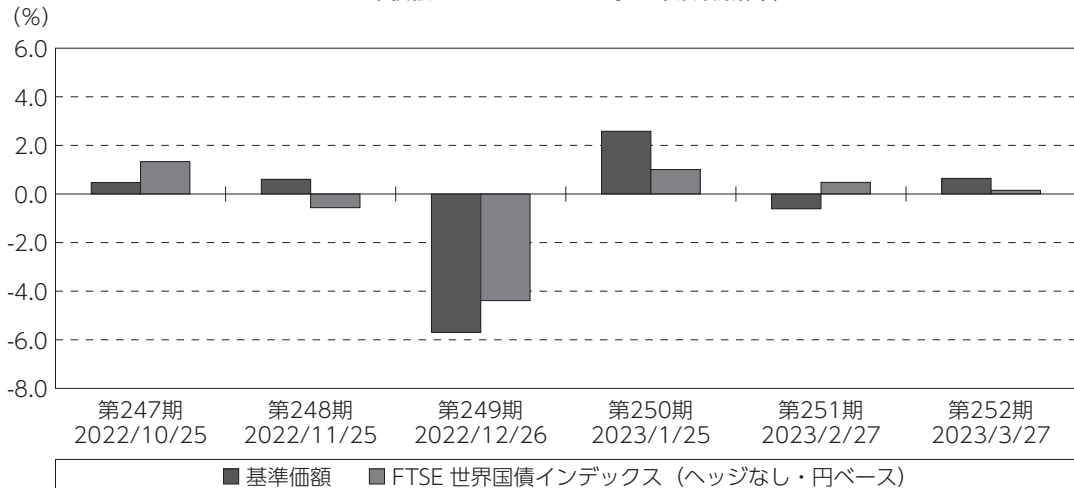
※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月27日～2023年3月27日)

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)の騰落率を0.1%下回りました。債券要因は、多くの投資国の長期債利回りが低下する中、米国を中心に長期債の投資比率を高め維持したことなどがプラスとなりました。為替要因は、当作成期間中に対円で下落したオーストラリアドルとカナダドルの投資比率を、ベンチマークと比較し高めに維持したことが小幅なマイナスとなりました。その他、信託報酬等のコストがファンドのパフォーマンスの押し下げ要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

投資対象国の金利と為替

	10年国債利回り (現地終値)			為替相場		
	2022/ 9 /26	2023/ 3 /27	変化幅	2022/ 9 /26	2023/ 3 /27	変化率
アメリカ	3.68%	3.38%	△0.30%	144.02	130.65	△ 9.3%
カナダ	3.07%	2.75%	△0.32%	105.80	95.16	△10.1%
オーストラリア	3.91%	3.22%	△0.69%	93.77	86.79	△ 7.4%
日本	0.25%	0.32%	0.07%	—	—	—
ドイツ	2.02%	2.13%	0.11%	139.08	140.67	1.1%
フランス	2.60%	2.66%	0.06%	139.08	140.67	1.1%
イタリア	4.34%	4.01%	△0.33%	139.08	140.67	1.1%
イギリス	3.83%	3.28%	△0.55%	154.23	159.88	3.7%

(注) 10年国債利回りは、日本を除き当該日の現地前営業日の引値です。

(注) 為替相場は当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値です。

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の組入資産構成比

	2022/ 9 /26	2023/ 3 /27	変化幅
アメリカ国債	43.8%	39.7%	△ 4.1%
カナダ国債	5.4%	4.3%	△ 1.1%
オーストラリア国債	6.5%	7.0%	0.5%
日本国債	2.5%	2.7%	0.2%
ユーロ	26.0%	29.9%	3.9%
ドイツ国債	8.1%	14.1%	6.0%
フランス国債	11.8%	12.7%	0.9%
イタリア国債	6.1%	3.1%	△ 3.0%
イギリス国債	6.7%	4.2%	△ 2.5%
短期金融商品・その他	9.1%	12.3%	3.2%
保有債券の平均最終利回り	3.36%	3.00%	△0.36%
保有債券の平均直接利回り	2.41%	2.78%	0.37%
ファンドのデュレーション	7.61年	7.80年	0.19年
ベンチマークのデュレーション	7.74年	7.44年	△0.30年

(注) 各国の保有債券の未取利息に関しては、「短期金融商品・その他」に含めて表示しております。このため、表中の国別構成比と文章中の通貨別投資比率とは正確には一致しません。

(注) 国別構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計と合わない場合があります。

(注) 国別構成比は、「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の純資産総額に対する比率です。

分配金

(2022年9月27日～2023年3月27日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益等の全額としております。
 当作成期間におきましては、毎期1万口当たり10円(税引前)、合計60円(税引前)の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期	第252期
	2022年9月27日～ 2022年10月25日	2022年10月26日～ 2022年11月25日	2022年11月26日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月25日	2023年1月26日～ 2023年2月27日	2023年2月28日～ 2023年3月27日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.134%	0.133%	0.142%	0.138%	0.139%	0.139%
当期の収益	10	10	5	10	8	10
当期の収益以外	—	—	4	—	1	—
翌期繰越分配対象額	96	97	93	95	94	96

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

投資国の債券市場では、欧米の金融システムへの懸念が残る中、当面は各国の経済指標やクレジット市場の動向を睨んで、上下に振れやすい展開が続くと見えています。しかし、今後は米国を中心に銀行の融資基準の厳格化を通じて、経済活動、雇用、インフレに下押し圧力がかかると判断しており、徐々に利回り低下を試す動きが優勢になると考えています。一方、各中央銀行の金融政策スタンスには温度差があるため、投資国間のパフォーマンス格差が拡大する可能性が高いと判断しています。

為替市場では、米ドルを筆頭に海外金利の先高観測が後退したことに加え、日銀の植田新総裁の誕生を受けて、今後日銀がYCCの修正や撤廃に踏み切る公算が高いことから、短期的に円高圧力が強まる場面も想定されます。一方、内外金利差が比較的高水準を維持すると予想される中で、国内投資家からの円売りニーズも強く、円高余地は限定的と判断しています。

(運用方針)

<ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣) >

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

お知らせ

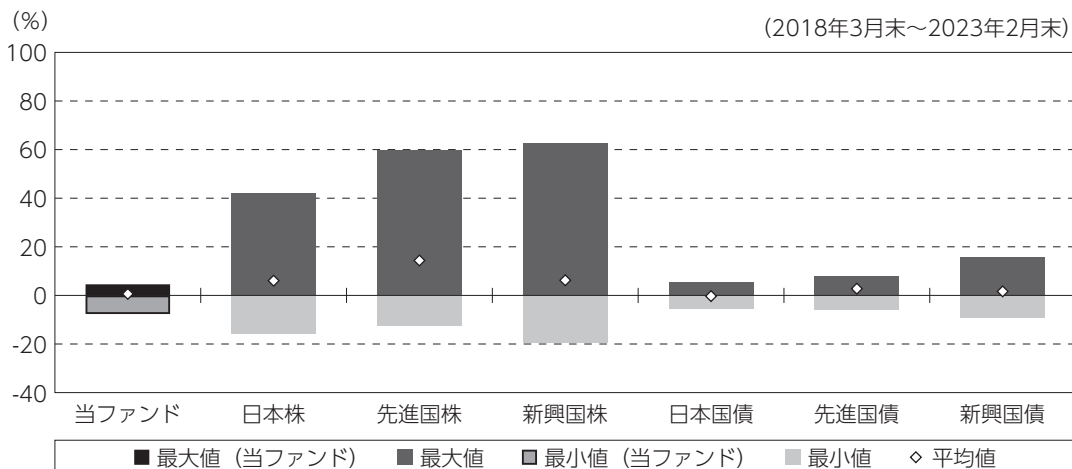
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2002年3月26日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進国のソブリン債（国債および政府保証債等）に分散投資し、リスク分散を図ったうえで、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。 （ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。） 分配対象額の範囲内で、1万口当たり1円単位で安定的な分配を行うことを基本とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	4.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 7.7	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	0.6	6.1	14.4	6.2	△ 0.3	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年3月から2023年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

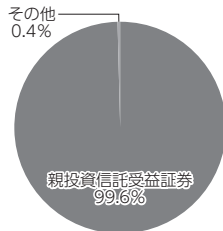
組入資産の内容

(2023年3月27日現在)

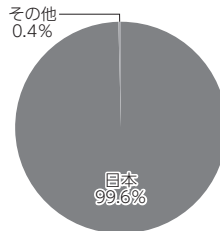
○組入上位ファンド

銘柄名	第252期末
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

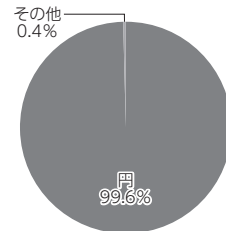
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

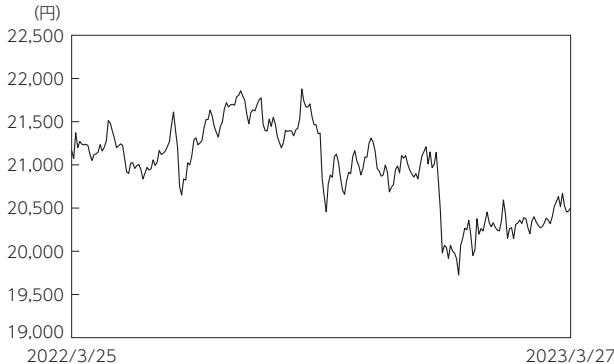
項目	第247期末	第248期末	第249期末	第250期末	第251期末	第252期末
	2022年10月25日	2022年11月25日	2022年12月26日	2023年1月25日	2023年2月27日	2023年3月27日
純資産総額	56,584,553,542円	56,113,600,948円	52,222,882,955円	52,962,836,018円	51,874,056,823円	51,534,768,760円
受益権総口数	75,914,686,029口	74,923,906,377口	74,049,614,094口	73,314,829,277口	72,347,563,915口	71,514,473,256口
1万口当たり基準価額	7,454円	7,489円	7,052円	7,224円	7,170円	7,206円

(注) 当作成期間(第247期~第252期)中における追加設定元本額は225,963,968円、同解約元本額は5,702,675,267円です。

組入上位ファンドの概要

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2022年3月26日～2023年3月27日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	2	0.012
(保 管 費 用)	(2)	(0.011)
(そ の 他)	(0)	(0.001)
合 計	2	0.012

期中の平均基準価額は、20,994円です。

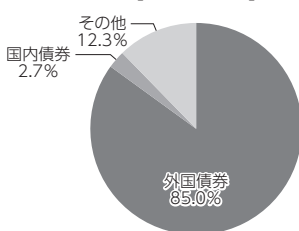
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

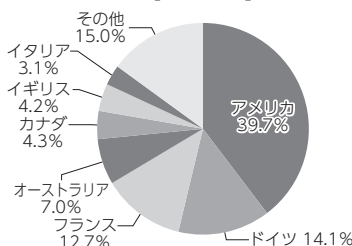
(2023年3月27日現在)

順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	US TREASURY N/B 3.875	国債証券	米ドル	アメリカ	7.7
2	US TREASURY N/B 2.25	国債証券	米ドル	アメリカ	6.0
3	US TREASURY N/B 6.25	国債証券	米ドル	アメリカ	5.7
4	DEUTSCHLAND REP 0	国債証券	ユーロ	ドイツ	5.7
5	US TREASURY N/B 3.5	国債証券	米ドル	アメリカ	5.4
6	US TREASURY N/B 4.125	国債証券	米ドル	アメリカ	5.1
7	FRANCE O.A.T. 2.5	国債証券	ユーロ	フランス	4.7
8	AUSTRALIAN GOVT. 1.75	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.4
9	FRANCE O.A.T. 2	国債証券	ユーロ	フランス	3.5
10	BTPS 0.85	国債証券	ユーロ	イタリア	3.1
組入銘柄数			30銘柄		

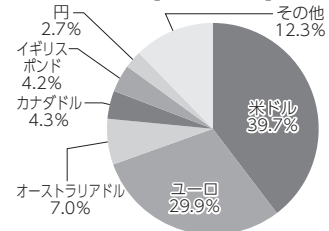
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。通貨別配分につきましては、組入債券の通貨別比率を表示しております。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。